

# 2012

# Business Report

第11期ビジネスレポート

2011年4月1日 » 2012年3月31日



**DRECOM**<sup>®</sup>  
with entertainment

株式会社ドリコム

<http://www.drecom.co.jp/>



# 社長インタビュー



代表取締役社長  
内藤 裕紀

## 事業の状況について教えてください。

2012年3月期は、事業の軸を「ソーシャル」中心へとシフトさせた1年でした。「ソーシャル」は現在のインターネットの世界における大きな潮流です。友達と協力し合ったり、競い合ったり、刺激し合うという関係性をインターネット上で生み出すことで、これまでのサービスに新しい価値を付加するものです。この概念は決して目新しいものではありません。修学旅行の夜に友達とみんなでトランプをしたときの楽しさを思い出してみてください。みんなでワイワイガヤガヤする感覚をインターネットの世界で実現しようとするのが、「ソーシャル」と呼ばれる概念です。また、新聞やテレビなどで「ソーシャルゲーム」という言葉を聞く機会が多くゲームのイメージが強いかもしれ

ませんが、この「ソーシャル」という概念は決してゲームだけに当てはまるものではなく、インターネット上の様々な活動に対して新しい価値を付加することができるものと捉えています。

ドリコムではこの「ソーシャル」という概念を軸に、「ゲーム」「広告」「教育」という3領域に向けてサービスを展開しています。2009年より取り組みを開始した「ソーシャル×ゲーム」領域は、ドリコムの成長を牽引する主力事業となっています。また「ソーシャル×広告」領域は、poncanという独自サービスを展開しmixiの公式サービスとして採用されるなど、着実に成長を続けています。「ソーシャル×教育」領域は、この1年で新たに取り組みを開始した領域です。スマートフォン向けの教育アプリを展開しており、第1弾アプリを2012年3月にリリースし利用者数も順調に増えています。

全社的な観点では、事業の選択と集中をすすめ注力事業により多くの経営資源を投下することで更なる競争力の強化に努めました。この競争力強化の一環として、ドリコムの事業の軸である「ソーシャル」の領域から外れるモバイルコンテンツ事業、ASP事業を譲渡することといたしました。また、特にソーシャルゲーム事業におきましてタイトル数の拡充が今後の成長への重要な要素であると考え、開発力の強化を目的にマレーシアのシステム開発企業Snout Sdn.Bhd.を子会社化いたしました。

### ソーシャルゲームについての様々な報道に関してお聞かせ下さい。

ドリコムでこの1年間に提供してきたソーシャルゲームのタイトルは「陰陽師」「ちょこっとファーム」「ソード×ソード」「ピックリマン」の4本です。いずれのタイトルにも共通する傾向として、ユーザーがゲームで遊ぶ期間の長さをあげることができます。

ドリコムではゲームそのものの面白さを高めていくことを目指し開発・運用をすすめており、お問い合わせのメールなどを通じて頂戴する声を日々の改善に反映しております。まだまだ完全にご満足いただける状態とは言えませんが、ご利用期間が長いことはドリコムの品質の表れの一つであると考えています。現在、新聞などを通じてゲームの課金方法についてご意見をいただいておりますが、ドリコムとしてご意見を真摯に受け止めながら引き続き高い品質のソーシャルゲームを提供できるよう取り組んでまいります。

### 2013年3月期の取り組みについて教えてください。

本年度に関しましても、「ソーシャル」を軸とした「ゲーム」「広告」「教育」の3領域に集中していく方針です。ゲームにつきましては、約1年ぶりとなる新規のオリジナルタイトルをリリースし、さらなる事業成長を目指してまいります。広告につきましてはponcan導入メディアと広告掲載クライアントの両面の拡大を進めてまいります。教育につきましては投資段階が続きますが、ユーザーベースの拡大を目指しより良い環境とコンテンツの提供に努めてまいります。

今後も「インターネットサービスのものづくり企業」として、全社一丸となり事業の拡大と新規事業の立ち上げ、収益化に邁進してまいります。株主・投資家の皆様におかれましても、何卒、一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



# 2012年3月期の取り組み

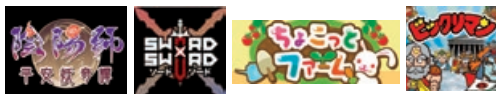
## 事業の状況

ドリコムビジネスは、BtoCサービスを提供するエンタメウェブ事業と、BtoBサービスを提供するマーケティングソリューション事業から構成されます。ソーシャルゲームが全体の売上を牽引する主力事業となっています。

### エンタメウェブ事業

#### ソーシャルゲーム

SNS上で遊べるソーシャルゲームの提供



#### ソーシャルラーニング

スマートフォン向け教育コンテンツの提供



#### モバイルコンテンツ

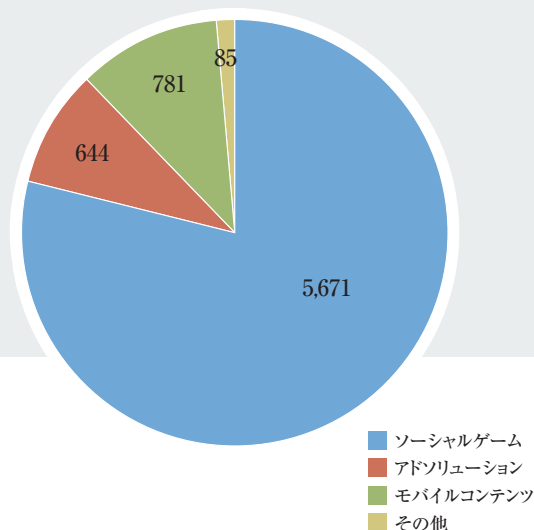
スマートフォン向けコンテンツの企画・開発

### マーケティングソリューション事業

#### アドソリューション

独自のリワード広告サービスの提供

poncan



売上の分布 (単位: 百万円)

#### ソーシャルゲームとは……

mixiやGREE、モバゲーなどのSNS上で遊べるゲームのことです。友達と競い合ったり、協力するという要素を重視した内容となっており、国内では2009年後半より急速に市場が立ち上がり、拡大しています。

## 新規リリースの状況

仲間との協力を重視したカードバトルゲーム「戦国フロンティア」を6月5日にリリースしました。次期に向けてさらに複数タイトルの新規リリースを計画しています。

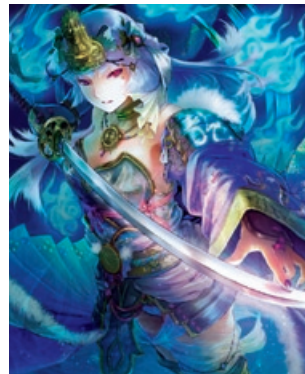
プレイヤーは戦国時代を舞台に、織田信長や豊臣秀吉といった、誰もが知る有名戦国武将カードを集め、全国統一を目指し、ストーリーを進めていきます。

GREEタイトル

# 戦国 フロンティア

SENGOKU FRONTIER

戦国フロンティア



# 営業の概況

## 概況

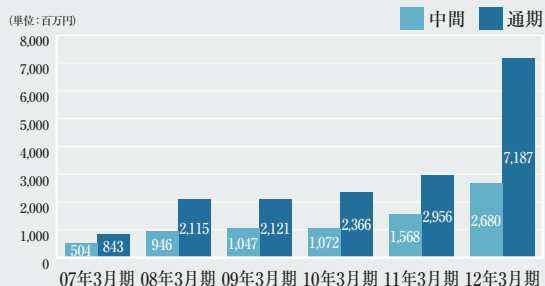
我が国におけるインターネットの普及率は人口の78.2%に達し、その大半が携帯電話等のモバイル端末からの利用が可能となっております（出所：平成22年通信利用動向調査）。モバイル端末市場では、2012年3月末のスマートフォン契約数が2,522万件と総契約数1億1,232万件の22.5%、さらに2014年度末にはスマートフォン契約数が過半数に至ると予測されております（出所：株式会社MM総研）。

多様な環境変化の下、国内ソーシャルゲーム市場は引き続き拡大し、2012年度の市場規模は前年度比1.3倍の3,429億円と推定されております（出所：株式会社矢野経済研究所）。かかる状況下、当社は、スマートフォン向けソーシャルゲームの開発やスマートフォンに対応する新規事業としてソーシャルラーニング事業への取り組みを開始するなど、環境変化への対応を進めるとともに、依然として市場の趨勢を握るフィーチャーフォン向けソーシャルゲームのラインナップ拡充とGREE、mixiといった複数プラットフォームへの提供を行いました。

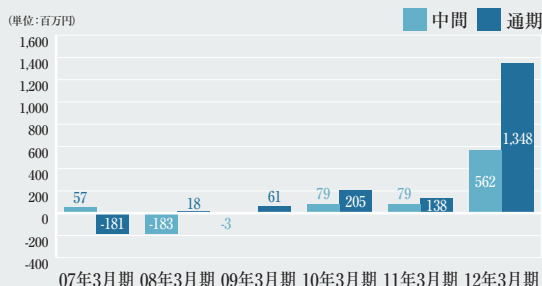
加えてソーシャルゲームとの親和性の高いリワード広告への一層の注力をすすめつつ、経営資源の集約を図ることを目的にモバイルコンテンツ事業の事業譲渡を行いました。

以上の取り組みの結果、当事業年度の売上高は7,187,771千円（前事業年度比173.1%増）となりました。また、営業利益は1,353,205千円、経常利益は1,348,280千円、当期純利益は804,231千円となりました。

## 売上高



## 経常利益



## セグメント別の業績

エンタメウェブでは、ソーシャルゲーム事業において、ユーザーのニーズを満たすコンテンツの提供とともに、効率的な広告宣伝とプロモーション強化に引き続き取り組んでまいりました。また、既存タイトルを複数プラットフォームへの展開を進めたことと、他社ソーシャルゲームのパブリッシング展開を開始することで、より多くのユーザーへの訴求が進み、業績拡大の増勢を果たしました。

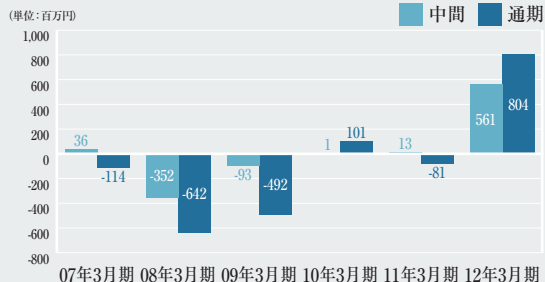
一方、着メロ、きせかえを中心とした携帯電話向けコンテンツの提供を行ってまいりましたモバイルコンテンツ事業を3月15日付で譲渡したことから、当該事業からの収益が当初想定を下回りましたが、ソーシャルゲーム事業の売上増で吸収し、売上高は6,460,300千円となりました。

費用面では、ソーシャルゲーム事業において、新規ユーザーの獲得を目的とした広告宣伝費やゲームクオリティ向上に向けた原材料費や外注加工費の増加がありました。売上拡大によりセグメント利益は1,466,264千円となりました。

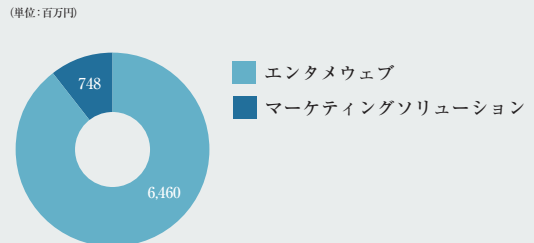
マーケティングソリューションでは、アドソリューション事業において、10月18日よりソーシャル・ネットワーキングサービス（SNS）「mixi」上で公式リワード広告「mixiポイントプラス」の提供を開始しました。サービス立ち上げに伴う営業効率の低下により売上高は748,614千円となり、費用面でサービスの安定運用に向けたシステム開発費が発生したことから、セグメント損失は113,058千円となりました。

次期につきましては、各事業において、既存ユーザーの満足度向上と利用継続に向けての取り組みを強化すると同時に、スマートフォン向けコンテンツ市場の拡大に対応したサービスの拡充を図り、付加価値向上を目指したサービスの提供を行ってまいります。

### 純利益



### セグメント別売上高



# 財務諸表 (要旨)

## 貸借対照表

科 目	(単位：千円)	
	第11期 2012年3月31日現在	第10期 2011年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	1,911,296	573,370
売掛金	1,662,238	620,053
前払費用	19,753	22,161
繰延税金資産	43,841	—
未収入金	140,041	5,446
その他	2,008	1,360
貸倒引当金	△7,218	△13,518
流動資産合計	3,771,961	1,208,872
固定資産		
有形固定資産	169,105	38,825
無形固定資産	232,711	794,348
投資その他の資産	284,885	48,874
固定資産合計	686,702	882,048
資産合計	4,458,663	2,090,921

科 目	(単位：千円)	
	第11期 2012年3月31日現在	第10期 2011年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	1,967,528	576,764
固定負債	271,427	148,502
負債合計	2,238,955	725,267
(純資産の部)		
株主資本	2,169,643	1,336,304
資本金	1,059,807	1,045,253
資本剰余金	1,300,787	1,286,233
利益剰余金	△190,951	△995,182
新株予約権	50,064	29,349
純資産合計	2,219,708	1,365,653
負債純資産合計	4,458,663	2,090,921



## 損益計算書

科 目	(単位：千円)	
	第11期 2011年4月1日～ 2012年3月31日	第10期 2010年4月1日～ 2011年3月31日
売上高	7,187,771	2,632,111
売上原価	3,423,131	1,259,149
売上総利益	3,764,639	1,372,962
販売費及び一般管理費	2,411,433	1,275,887
営業利益	1,353,205	97,074
営業外収益	1,194	3,117
営業外費用	6,119	3,716
経常利益	1,348,280	96,475
特別利益	—	107,776
特別損失	339,121	194,819
税金等調整前当期純利益	1,009,158	9,432
法人税、住民税及び事業税	334,411	3,421
法人税等調整額	△129,484	3,521
法人税等合計	204,927	6,942
当期純利益	804,231	2,490

## 財政情報に関する定性情報

総資産が前事業年度末と比較して2,367,742千円増加し、4,458,663千円となりました。これは、主に現金及び預金が1,337,926千円増加、売掛金が1,042,184千円増加、本社移転に伴う建物が148,199千円増加、繰延税金資産が125,962千円増加したことによるものです。

負債につきましては、前事業年度末と比較して1,513,688千円増加し、2,238,955千円となりました。これは、主に未払法人税等が342,479千円増加、借入の新規実施による短期借入金及び長期借入金が113,607千円増加、未払金が674,550千円増加したことによるものであります。

純資産は、前事業年度末と比較して854,054千円増加し、2,219,708千円となりました。これは、主に当期純利益を計上したことに伴う利益剰余金が804,231千円増加したことによるものであります。

## キャッシュ・フロー計算書

科 目	(単位：千円)	
	第11期 2011年4月1日～ 2012年3月31日	第10期 2010年4月1日～ 2011年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,531,178	207,533
投資活動によるキャッシュ・フロー	△326,162	△382,096
財務活動によるキャッシュ・フロー	132,911	123,101
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,337,926	△51,461
現金及び現金同等物の期首残高	573,370	624,831
現金及び現金同等物の期末残高	1,911,296	573,370

(注) 第10期は連結財務諸表提出会社のため単体のキャッシュ・フロー計算書は作成していません。

# ドリコムサービスの指針

ドリコムでは、より多くのユーザーに楽しい時間や、学びの時間など価値ある時間を提供できるコンテンツの開発に取り組んでまいります。

## ■ ソーシャルゲームの今とこれから

私たちはこれまでゲームの本質である「面白さ」にこだわったタイトルを提供してまいりました。その結果、長く遊んでいただけという実績につながっております。引き続きユーザーの期待を超える「面白さ」を提供できるよう創意工夫してまいります。

さらに、ソーシャルゲームの原点は「友達と一緒に遊ぶことの楽しさ」にあると私たちは考えています。ドリコムのソーシャルゲームでは、この楽しさを重視し、競争ではなく、協力し合うことに重みをおいてコンテンツの提供を行ってまいります。

## ■ いよいよはじまったソーシャルラーニング

今年より本格的にソーシャルラーニングの取り組みを開始いたしました。苦しい勉強も、仲間がいることで乗り越えられます。そんな経験をみなさんもお持ちではないでしょうか。私たちは学習コンテンツにソーシャル性がもたらす「励まし合う」要素を加えることで、楽しみながら学べる環境を支援します。

2012年3月にリリースした英語学習アプリ『聴いて育てる英会話 話えいたま』は1ヶ月で10万ダウンロードを突破し、順調に成長し始めております。

### 聴いて育てる英会話 「話えいたま (iPhone向け)」

ほのほのとした  
雰囲気を楽しみながら  
友達と英語学習を進められます



↑ キャラクター育成画面



↑ 英語学習画面

# 株式情報・会社概要

2012 Business Report

## 株式の状況 (2012年3月31日現在)

発行可能株式総数 217,600株

(注) 2011年10月1日付にて実施した株式分割(1株を5株に分割)に伴い、発行可能株式総数は174,080株増加しております。

発行済株式の総数 135,525株

(注) 2011年10月1日付にて実施した株式分割(1株を5株に分割)に伴い、発行済株式総数は108,420株増加しております。

株主数 2,424名

## 大株主 (上位10名) (2012年3月31日現在)

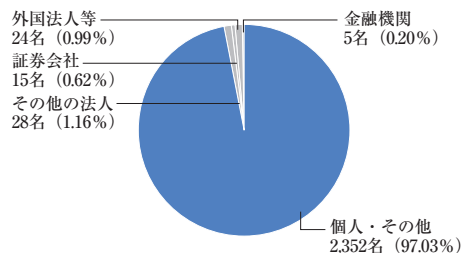
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
内藤裕紀	53,900	39.77
楽天株式会社	26,750	19.74
小上勝造	5,819	4.29
廣瀬敏正	5,445	4.02
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,096	3.76
井上陽平	4,560	3.36
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,235	2.39
小柳 滋	950	0.70
田中忠雄	915	0.68
齊藤雄介	800	0.59

(注) 当社は自己株式を所有しておりません。

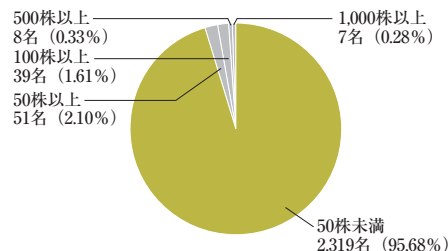
## 会社概要 (2012年6月23日現在)

商号	株式会社ドリコム
本社所在地	〒153-0064 東京都目黒区下目黒1丁目8番1号 アルコタワー17階
設立	2001年11月13日
資本金	1,059百万円
代表取締役社長	内藤裕紀
従業員数	169名(2012年3月31日現在)
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>モバイル/PC向けのエンタメコンテンツの企画・提供</li> <li>マーケティングソリューションの開発・提供</li> </ul>

## ◆所有者別分布状況



## ◆所有数別分布状況



## 役員 (2012年6月23日現在)

代表取締役社長	内藤裕紀
取締役副社長	菅原勇祐
取締役	川村勇夫
取締役	長谷川敬起
取締役	安藤公二
常勤監査役	南敬三
監査役	杉本一志
監査役	青木理恵
執行役員	廣瀬敏正
執行役員	前田充章
執行役員	後藤英紀

(注) 1. 取締役安藤公二氏は、社外取締役であります。  
2. 監査役南敬三氏、監査役杉本一志氏、監査役青木理恵氏は、社外監査役であります。

# 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

## 【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡下さい。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎: 0120-176-417
(インターネットホームページURL)	<a href="http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html</a>

## 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用していなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法	当社のホームページに掲載する。 <a href="http://www.drecom.co.jp/ir/kessan/">http://www.drecom.co.jp/ir/kessan/</a>
上場証券取引所	東証マザーズ

## ホームページ/IR情報のご案内

当社に関する最新動向や情報をお伝えしております。



<http://www.drecom.co.jp/>

株主様向け  
アンケート

## 株主の皆様の声をお聞かせ下さい

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、  
アクセスコード入力後に表示される  
アンケートサイトにてご回答下さい。  
所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード **3793**

いいかぶ

検索

Yahoo!, MSN, exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索して下さい。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信して下さい。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を差しさせていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エーツーメディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL: 03-5777-3900 (平日 10:00~17:30)  
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL: [info@e-kabunushi.com](mailto:info@e-kabunushi.com)